

平成23年度(7月～9月)

市の主要事業のあゆみ

生物多様性関連事業の推進

《平成23年7月～9月取組み》

エコバレーの推進

《平成23年7月～9月取組み》

■庁内アクションプランの策定

豊岡市は、環境都市「豊岡エコバレー」を目指しています。その実現のためには、市民の皆さん、事業所、行政それぞれが環境意識を高く持ち、環境活動に持続的に取り組んでいくことが大切です。全市民を巻き込んで活動を展開する前に、まず職員の環境意識を統一させ、目指す目標を同じ方向へ向けるべく庁内アクションプランを策定し、具体的取組みを実践することとしました。

■7月8日豊岡市アンテナショップオープン

東京有楽町東京交通会館1階に豊岡市アンテナショップ「コウノトリの恵み 豊岡」がオープンしました。

売上げナンバー1は「玄武の清水」で次は「コウノトリ育むお米450g入り」となっています。安全安心な水や米

が良く売れています。

■エネルギー対策

市では、バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギー利用に積極的に取り組んでいます。ペレットストーブは平成19年からの4年間で市庁舎、学校等公共施設に132台を導入しました。また、9月1日には、県内で初のペレット生産工場が出石町奥小野に完成し、エネルギーの地産地消を進めていきます。

《10月以降の予定》

- ・アンテナショップでは、酒類の販売や期間限定のテスト販売によって消費者の感想や意見を供給業者へフィードバックするチャレンジ商品の導入、オンラインショップなどの活用でさらなる売上げアップを図ります。
- ・市内での木質バイオマス利用を促進するため、市民の皆さんがペレットストーブを購入する場合、購入金額の半額(上限20万円)を補助します。10月25日(火)から受け付けを開始します。

《平成23年7月～9月取組み》

■世界一田めになる学校

○実施日・場所 8月9日・東京大学弥生講堂

○主催 宮城県大崎市、新潟県佐渡市、豊岡市

○内容

- ・テーマ 「命と田んぼのつながり」
- ・東京大学大学院鷲谷いづみ教授を校長先生に授業形式で開催

- ・3市の子どもたち(本市はコウノトリKIDSクラブ)が地域の取組みを発表

■JICA草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」(平成22年～3カ年計画)

県と市では、NPO法人食と農の研究所を実施機関としてJICAの全面支援により、コウノトリをシンボルとする環境教育と環境創造型農業を介して農村環境改善に向けた国際協力事業を実施しました。

○実施日・場所 7月23～27日、中国浙江省慈溪市庵東鎮

○内容

- ・専門家チーム8人(うち豊岡関係5人)を派遣
- ・環境教育の実践カリキュラムや環境教材の作成準備、農作物と生きものを同時に育む農法の基本理念説明等

■ラムあるき2

○実施日・場所 8月21日・ラムサール条約湿地の登録予定エリアの円山川下流域

○内容

- ・地域の自然や文化を見つめるウォーキングイベント
- ・ツバメのねぐら入り見学等

《平成23年7月～9月取組み》

■東京大学の豊岡実習

○実施日・場所 9月21～24日・田結区ほか

○内容

- ・湿地の生物調査や取組みの聞き取りなどの野外実習
- ・実習成果を地元住民に報告(公開ワークショップ)

《10月以降の実施・予定》

- 10月8～11日、JICA草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」で専門家チーム7人(うち豊岡関係4人)を中国に派遣
- 「豊岡市生物多様性地域戦略」策定に向け、11月1日(火)に戦略検討委員会を設置し、検討に入ります。

新庁舎建設事業の推進

新庁舎建設工事では、周辺の皆さんに大変ご迷惑をお掛けしています。



▲地盤改良工事では、約千本の砂杭を打ちました

《平成23年7月～9月取組み》

■工事の状況

- 新庁舎建築工事…大型重機による地盤改良工事を実施しました。
- 現本庁舎工事…内装や外部建屋を解体し、補修工事を実施しました。

- 電気設備工事…敷地周辺のケーブル盛替え(移動)工事を実施しました。

- ※工事の状況は、毎月1回、市ホームページに掲載

《10月以降の予定》

- 敷地内の土を掘削・搬出し、地下に免震装置を取り付けるなど、基礎工事等を実施します。

公共交通利用促進

《平成23年7月～9月取組み》

■上限2000円バス社会実験

事業

全但バス神鍋線「上限2000円バス社会実験」について、実際に朝夕の増便を設定し、「お試しキャンペーン」を実施しました。

○「神鍋線、一回乗つとこ!! キャンペーン」 7月11～18日

○協定書締結式(市・運行事業者・神鍋線乗つて守ろう市民運動推進協議会) 9月20日

○意見交換会 9回実施

■e通勤プロジェクト

マイカーから公共交通機関での通勤へ転換する「e通勤プロジェクト」と、「上限2000円バス社会実験」を周知するため、9月28日に日高町(日高)布交差点で街頭キャンペーンを行いました。

■チクタクひばこ運行開始

出石町小野地区を走る地区の乗合タクシー「チクタクひばこ」が、7月13日、運行を開始しました。市内を走るチ

クタクはこれで3例目です。

■「このとり指定席往復きっぷ」購入者へチヨロQのプレゼント

特急「このとり」の誕生記念と利用促進を目的に、JR

江原駅・豊岡駅・城崎温泉駅で、特急「このとり」を利用した往復切符を購入した方を対象に、豊岡市オリジナル限定「287系チヨロQ」をプレゼントするキャンペーンを9月に実施しました。

■「サンスト夏の夜市」公共交通PR活動

市街地循環バス「コバス」と、公共交通の利用促進のため、コバス展示を行いました。

○「サンスト夏の夜市」7月20・27日

■KTR市民号

・「ななえの学校の遠足」と題して、8月20日、宮津方面へKTR市民号を運行しました。

《10月以降の予定》

・JR豊岡市民号を11月6日(日)～7日(月)に実施予定
・10月1日からスタートした「上限2000円バス社会実験」の期間中、利用促進に努めます。

中心市街地活性化

まちの個性や歴史、伝統を生かしながら、暮らしやすい

「歩いて暮らせるまちづくり」を進める「豊岡市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

《平成23年7月～9月取組み》

■豊岡市中心市街地活性化基本計画

・同策定委員会が計画素案を市へ報告(7月12日)
・計画策定(8月3日)

〔計画の基本方針〕

○メインテーマ

「豊岡」の真ん中で営み続ける「豊岡を実感する」

○基本方針のテーマ・取組み方針

・住まう 居住人口の回復を図るため、生活基盤施設の集積を生かし、まちなかで暮らしたくなる魅力を高める

・集う 楽しめるまちやまちにぎわいの創出を図るため、まちに来る機会や回遊性を高めたり、誇りと愛着が持てるまちを創る
・商う 商業空間の創出を図る

るため、今あるものを上手に活用し、まちの魅力を高め、まちの顔をつくる

○リーディングプロジェクト

・情報発信強化事業
・人材育成事業
・イベント総合プロデュース事業

・復興建築や近代化建築活用事業「市役所南庁舎別館等活用事業」
・かばんを生かしたまちづくり事業「宵田商店街(カバンストリート)空き店舗活用事業」

《10月以降の予定》

・復興建築や近代化建築活用した事業は、現市本庁舎と南庁舎別館の利活用を検討し、今年度に計画策定します。
・宵田商店街の空き店舗を活用したかばんをキーワードとする拠点整備事業計画も今年度策定します。



▲現市役所南庁舎別館が兵庫縣農工銀行豊岡支店だった当時の写真

スマートウェルネス

豊岡構想の推進

《平成23年7月～9月取組み》

■スマートウェルネス豊岡構想の策定

市民説明会、グループインタビューなどの意見を受け、さらに市民の代表による検討委員会を8月に設置して、現在構想の策定に向けて議論を深めています。

○健康ポイント制度スタート

この構想の主要事業の一つ、笑顔あふれる健康マイレージ「健康ポイント制度」を8月1日にスタートしました。

9月末現在で、約千人の皆さんがこの制度に参加し、日々の健康づくりに取り組んでいます。

健康ポイント制度はいつでも参加できます。健康づくりに取り組んだ結果、貯まったポイントを社会貢献活動や公共施設などの利用券と交換できる制度です。



▲健康ポイント対象のラジオ体操